

## 広島市周辺の重要伝統的建造物群保存地区における観光者と地域住民による

### 観光の認識

広島修道大学 商学部

指導教員：富川 久美子

商学部商学科 3年次生 17名

#### 1. 事業目的

重要伝統的建造物群保存地区（以下、「重伝建」という。）は、伝統的建造物の保存のための制度であり、国や地域によって選定される特定の地域のことである。重伝建に選定されている地区では様々な問題を抱えており、なかでも空き家や高齢化問題などを解決するために住民がまちづくりに取り組んでいる。主に住民が主体となってまちづくりが進められ観光の活性化を期待する地域が多い。しかし、重伝建の地域外の住民や観光者が重伝建をどう見ているかが不明である。住民主体の観光まちづくりにおいて住民は観光客が求めるものを住民自身が判断しているのではないか、実際の観光客が求めるものとの齟齬がないだろうか。

そこで、広島市周辺の5カ所の重伝建の地域である竹原市竹原地区、呉市豊町御手洗、福山市鞆町、廿日市市宮島町、柳井市古市金屋を対象に、観光者と地域住民による重伝建観光の認識の違いを明らかにすることを目的として、まず文献・資料をもとに各地域における観光の実態や住民の取り組みを調べ、観光者による口コミを分析し、さらに観光者と住民双方への聞き取りをする。

#### 2. 聞き取り調査の内容

広島市周辺の5カ所の重伝建の地域、竹原市竹原地区、呉市豊町御手洗、福山市鞆町、廿日市市宮島町、柳井市古市金屋を対象に、観光者と地域住民による重伝建観光の認識の違いを明らかにするため、文献・資料をもとに各地域における観光の実態や住民の取り組みを調べ、観光者による口コミを分析し、各地の視察と観光者・住民双方への聞き取りをした。

- ① 2023年7月29日：呉市豊町御手洗地区
- ② 2023年9月23日：竹原市竹原地区
- ③ 2023年9月30日：柳井市古市金屋地区
- ④ 2023年10月19日：廿日市市宮島町（観光者へのヒアリング）
- ⑤ 2023年10月27日：廿日市市宮島町（地域住民へのヒアリング）
- ⑥ 2023年12月17日：観光研究合同発表会

以下学生からの報告書より抜粋し活動日毎の内容を記載する。

**(1) 呉市豊町御手洗地区、住民及び観光客への聞き取り調査（2023年7月29日）**

御手洗の地区別に4グループに分かれて住民および観光客に聞き取りをした。まちづくりを中心的に活躍している合同会社よーそろの井上氏から御手洗での活動内容や住民意識について聞いた。その他、今後学生と共同で取り組みたい事業についての話もいただくなど、地域の方々にとっても歓迎され、交流ができた。



活動の様子

**(2) 竹原市竹原地区の街並み視察・聞き取り調査（2023年9月23日）**

重伝建の保存地区においてガイドツアーに参加し、町並みの歴史や建築物について学んだ。その後、グループ別に観光施設や観光協会、また観光客に対してまちづくりやそれに関する意見などの聞き取りをした。住民の方に、若い人が来てくれるのは嬉しいし、話すことで若返るとお褒めの言葉もいただいた。調査をとおして学生が竹原を楽しみ、その様子をSNSにアップしたことからPRになったと考えられる。滞在中は食事や買い物などの経済効果もあったと考えられ、調査をしたことで地域活性化に僅かながらも貢献できた。



活動の様子

### (3) 柳井市古市金屋地区 聞き取り調査 (2023年9月30日)

白壁の町並みボランティアガイドによる町並みの説明を受けた。その後はグループに分かれ、それぞれ担当のエリアを中心に住民と観光客に対して重伝建観光の認識について聞き取り調査を行った。有料施設であるむろやの園をガイドの説明を受けながら視察した。その後、グループ別に担当のエリアを中心に住民と観光客に対して重伝建の認識について聞き取り調査をしたが、観光客がほとんどいなかったことと、受付にも人がいない施設があったため、思うような活動ができたとは言い難い。しかし、観光案内所や資料館などでは、聞き取りができ、資料を入手した。



活動の様子

### (4) 廿日市市宮島町 (観光者へのヒアリング) 調査活動 (2023年10月19日)

重要伝統的建造物群保存地区に選定されている廿日市宮島町の住民、喫茶店まちかど、ぎゃらりー宮郷などに対して、観光客がこの町家通りに来ることのメリット、デメリットや街並みを守っていくための取組み、その地域の課題について聞き取り調査をした。観光者に重伝建を知っているかの質問を聞いたところ、8人全員が知らないと答えた。また、観光客に重伝建地区の印象について聞いたところ、表参道商店街に比べて人通りが少なく、喫茶店など休めるスペースがあり落ち着いた雰囲気できゅっくりできるとのことだった。



活動の様子

### (5) 廿日市市宮島町 (地域住民へのヒアリング) 調査活動 (2023年10月27日)

商店街で土産物店の経営者や観光客に聞き取りをした。住民が行っている取組みを聞いたところ、ゴミ拾いのボランティア活動や、重伝建の外観を崩さないために勉強会を実施していることが分かった。また、観光客が来ることのメリットとデメリットなどを聞いた。住民の方

に、若い世代が世界遺産だけではなく重伝建にも興味を持って宮島に来ているということを知ってもらえた。住民に聞き込みをした時に、どこの大学生ですか？と声を掛けられて修道大学ですと答えたらすごく嬉しそうで、質問にも答えて下さったことから、学生の調査を好意的に受け止めていることが確認できた。

#### (6) 観光研究合同発表会 (2023 年 12 月 17 日)

12 月 17 日、エソール広島（おりづるタワー）にて、本学と一般社団法人 広島県観光連盟（HIT）との共催にて、「観光研究合同発表会」を開催し、本学商学部学生 23 名（富川ゼミ 17 名、金ゼミ 6 名）、広島工業大学 3 名、比治山大学 3 名、安田女子大学 9 名、広島大学 2 名と各大学の教員等の合計 60 名が参加した。観光研究合同発表会では、「ゼミ等で取り組んだ観光に関する研究の成果」の調査・研究成果発表がなされ、各発表の後それぞれの調査・研究に関する質疑応答が積極的に行われた。

##### 【富川ゼミ：柳井、竹原、御手洗、鞆の浦、宮島の町並みにおける観光研究についての報告】

広島市周辺の 5 地点の重要伝統的建造物群保存地区における旅行口コミサイトを元にテキストマイニングをし、聞き取り調査を実施した。その結果、観光者も住民も歴史的な町並み保存の重要性を認識しているものの、ごみの放置問題や住民のプライバシーの問題があると報告を行った。



報告会の様子

### 3. 事業実施による成果・効果

竹原市は 1982 年、柳井市は 1984 年、御手洗地区は 1994 年、宮島町は 2015 年、鞆町は 2017 年に重伝建として選定されているが、これまで広域都市圏内の複数の重伝建に着目した観光研究や比較研究は見られない。本研究では、5 カ所の重伝建地域を対象に、観光者による口コミを分析し、さらに観光者と住民双方への聞き取りを行った。研究者や行政機関とは異なり、学生が聞き取りを行うことで、住民や観光者から忌憚のない意見を聞き取ることができた。

各地域の観光者の重伝建の認識は、共通して、綺麗で落ち着いたイメージがあり、古い町並みの雰囲気があってゆっくり過ごせること、ドラマやアニメ映画や CM などの聖地巡礼ができる点に魅力を感じる（宮島以外）である。一方で地域住民は、各地域共通して、観光者が来ることで空

き家の再利用や観光産業の雇用維持ができること、地域活性化に効果があることを挙げている。重伝建観光の課題としては、観光者による地域住民へのプライバシー問題や古い建物への被害等の問題、街並みがゴミで汚されること等である。観光者は観光地なのにゴミ箱が無いことを不満に思っているが、住民は景観維持の為、敢えてゴミ箱を設置していないことも分かった。地域では景観維持の為に清掃活動やまちづくり活動を行っている。

結論として、観光者も住民も一致して景観保全の重要性を認識していると言える。しかし、観光者は、重伝建が住民にとって日常生活を送る場所であることの認識が足りず、それを理解したうえでマナーある観光を心掛けることが重要であると考えた。